



子供たちと一緒に地域づくりに取り組む 北山小学校児童による花植え

5月20日、北山小学校の2・3年生約35人が、ビーナスライン沿いにある花壇で花植えを行いました。

この取り組みは、「第9回信州ビーナスライン輝く道づくり」の作業の一環として行われ、芹ヶ沢地区のインターチェンジ花壇北側と渋川橋信号脇に赤色のペチュニア約280本を植えました。

参加した児童は、「色々掘ったりするのが大変だったけど、きれいで、すごく植えるのが楽しかった」や「みんなが見てくれたら嬉しいです」と花植えを楽しんでいました。



姉妹都市提携35周年を記念して 今井市長がロングモント市を訪問

5月2日～7日、今井市長がアメリカ合衆国コロラド州ロングモント市で行われる姉妹都市提携35周年記念式典への列席および視察等のため、ロングモント市を訪問しました。

滞在中は、ロングモント市役所、議会や公共施設などを訪問し、市議会本会議にも参会しました。また、ロングモント市のジョン・バック市長らとDX、交通システム等や市施策に関する意見交換を行いました。

今回の懇談等を通じて、姉妹都市交流のさらなる進展が期待されます。



市の代表として大会に臨む選手たちを激励 長野県市町村対抗駅伝大会及び小学生 駅伝大会茅野市選手壮行会

4月23日、市運動公園陸上競技場で、第34回長野県市町村対抗駅伝競走大会及び第20回長野県市町村対抗小学生駅伝競走に臨む選手たちの壮行会が開かれ、市長らが激励の言葉を贈りました。

壮行会では、山田利幸教育長から市の花であるリンドウをイメージした紫色のユニホームが授与され、選手を代表して小学生の部2区の牛山虎徹さんが決意表明を務め、市長らに意気込みを語りました。



市内の各事業所に就職した新入社員を祝福 新入社員歓迎大会

4月9日、茅野市民館コンサートホールで、この春市内の各事業所に就職した新入社員の門出を祝うため「新入社員歓迎大会」が開催されました。

当日は、参加を希望する市内18事業所に入社した計136人の新入社員が出席しました。

大会中、今井敦市長、茅野商工会議所の金子好成会頭や先輩社会人の方々が歓迎の言葉を送ったのち、新入社員を代表してファナックパトロニクス株式会社の伊東愛梨さんが挨拶を務め、最後は恒例の万歳三唱で閉会となりました。



社会構想大学院大学と地域活性化包括 連携協定を締結

5月12日、市役所で、学校法人先端教育機構 社会構想大学院大学（東京都）と包括連携協定が締結されました。

この協定は、同大の院生が茅野市の地域課題を研究し、その課題解決に向けた構想計画を提案するもので、その取り組みを通じて、院生の研究能力向上を目的としています。

今年度、研究する院生は社会人経験者の8名で、様々な知見や視点から市の課題解決に寄与するアイデアが生まれることが期待されます。



森から聞こえる音に耳を澄まして散策 市民の森 第18回森開き

4月26日、市民の森（吉田山）で、「市民の森 第18回森開き」が行われました。

開会式では、恒例となっているテープカットに見立てたシラカバの丸太を子どもたちがカットするウッドカットが行われ、森開きが宣言されました。

開会式後は、主催である市民の森を創る会のメンバーの案内のもと、植物の観察や鳥の声を聞きながら森の散策を楽しみ、参加者がそれぞれ絵を描いた巣箱を森に設置するなど里山に親しみました。



永明寺山で春の訪れを楽しむ 永明寺山カタクリ観察ときのこの菌打ち

4月19日、永明寺山カタクリ群生地周辺で、永明寺山ふれあいの森を創る会が主催するカタクリの観察会ときのこの菌打ち体験会が開かれました。

当日は、市内外から83名の方が参加しました。参加者は、ガイドの話を聞きながらカタクリの咲く散策路を歩き、見頃を迎えたカタクリの花を写真に撮ったり、観察したりして散策を楽しみました。

また、きのこの菌打ち体験では、参加者がシイタケの駒菌を打ち込んだ原木を持って帰ることができるため、収穫を楽しみにする様子が見られました。

参加した方からは、「カタクリ群生地があることを初めて知りました」「桜もカタクリも美しく、菌打ちも初体験でき、とても有意義に過ごせて楽しかった」と永明寺山で春を満喫するコメントをいただきました。

